

「孤独のグルメ」「神々の山嶺」漫画家・谷口ジローの世界的名作が日本初実写化

1963年——14歳の“あの日”が甦る

中年男が中学時代へタイムスリップ...人生の選択を見つめ直す“大人の青春物語”

映画

遥かな町へ

脚本・監督：錦織良成

大谷亮平、及川桃利、磯谷萌々子、戸田菜穂、滝藤賢一

漫画家・谷口ジローの世界的名作が日本初実写化

人生の選択を見つめ直す“大人の青春物語”

48歳の建築デザイナーの中原博史は、仕事の出張帰りにふと故郷・鳥取の倉吉を訪れ、墓の墓前でなぜか1963年の町へと迷い込み、“14歳の自分の身体”で再び家族と向き合うことになる。そこには若き日の母、妹、祖母、そして、やがて突然家を出て失踪する父の姿があった——。原作は、鳥取県出身の漫画家・谷口ジローが1998年に発表した漫画「遥かな町へ」。「孤独のグルメ」や「神々の山嶺」などで知られる谷口が描き上げ、2010年にルクセンブルク、フランス、ドイツの合作で先に映画化された世界的名作が、遂に日本初の実写映画化。主人公・博史を演じるのは実写版『ゴールデンカムイ』シリーズ等の大谷亮平。1963年に生きる14歳の博史役に及川桃利、博史の初恋相手役に磯谷萌々子。さらに、博史の両親役に、実力派俳優の滝藤賢一、戸田菜穂が名を連ね、作品に深みを与えている。脚本と監督は、『RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語』『たたら侍』など地域に根ざした物語を通して、そこに住む人々の心の交流を描き続けてきた錦織良成。原作の舞台でもある昭和30年代の町並みが今も残る倉吉市で撮影され、世代や国を超えて誰もの心に残る静かな記憶を見つめ、子どもだった頃の時間と向き合う物語。(126分)



【日時】7月16日(木) 10:00~/7月28日(火) 12:30~/8月10日(月) 15:30~
8月19日(水) 12:30~/9月8日(火) 12:30~

【会場】映画美学校試写室(渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 地下1階)

<試写予約、オンライン試写お申し込み>

<https://shisya.jp/harukanamachie> アクセスコード：1009



出演：大谷亮平 及川桃利 磯谷萌々子 戸田菜穂 滝藤賢一

脚本・監督：錦織良成 原作：谷口ジロー

音楽：瀬川英史 エグゼクティブプロデューサー：山本敬 企画プロデュース：結城豊弘(ANOSA) プロデューサー：安川唯史

制作：goen 製作：BARCOS 配給・宣伝：ムービー・アクト・プロジェクト 配給協力：渋谷プロダクション

2026年/日本/カラー/シネマスコープ/126分/PG-12 ©2026 映画「遥かな町へ」BARCOS

<https://harukanamachie.jp> X/Instagram：@harukanamachie

10/9(金)より YEBISU GARDEN CINEMA, シネスイッチ銀座ほか全国公開

配給宣伝：ムービー・アクト・プロジェクト(熊谷・猪股・中村) info@mapinc.jp / 03-3584-6237

パブリシティ：アニメプロデュース(山口) yamaguchi@animoproduce.com / 080-1615-5651

配給協力：渋谷プロダクション 小林 shibuyapro@clock.ocn.ne.jp / 090-4182-8704